

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

689-791

事務事業名	郷土資料提供・保存事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	図書館			1	10	5	5	10	5	0
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり				包含する細々目	1	10	5	5	10	2	49,800
施策	62 地域資源の資産化											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市民	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了した年度とする	
		文化資産	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
				107844	107000		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	地域の文化資産を保存・継承するべく、資産化を進め、市民に提供する。	郷土資料受入冊数	18目標	680冊	最終目標	800冊	
			18実績	863冊	19目標	700冊	↑
			23目標	750	23実績		最終目標達成年度
	特殊コレクション展入場数	18目標	300	最終目標	500		
		18実績	433	19目標	400		↑
23目標		450	23実績			最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	図書館所蔵の郷土資料の保存と提供は重要な図書館の使命の一つである。郷土を知り、郷土を愛し育み、発展させるための大きな市民の財産となる郷土資料を広く収集・整理し、提供する。貴重資料は中性紙保存袋に入れ保護し、美術博物館実施の燻蒸時に図書館貴重資料もあわせて行うなど資料の良好保存に努める。また、資料のマイクロ化またはデジタル化することが、長期に渡って提供するのに不可欠であり、美術博物館・歴史研究所と連携して事業展開する。また、貴重資料の目録をWEB上で公開し、広く市民の調査研究に貢献し、ふるさと意識の醸成の一翼を担う。	1. 信濃大衆新聞昭和14年～17年のマイクロフィルム化 2. 郷土のその他新聞のマイクロフィルム化 3. 村澤文庫の中性紙保存袋入れ替え 4. 飯田文書の中性紙保存袋入れ替え 5. 村澤文庫・堀家古書燻蒸(美術博物館と連携) 6. 35ミリフィルムのデジタル化(美術博物館と連携)「大火前のいいだ」「復興飯田市」「観光飯田」 7. WEB上で目録の公開	1. 信濃大衆新聞 2. 郷土のその他新聞 3. 村澤文庫 4. 飯田文書 5. 古書燻蒸 6. 35ミリフィルムのデジタル化 7. HPアクセス数	リール3巻 リール3巻 190点 243点 250点 3巻 10664回
		1. 中性紙袋・箱での保存の拡大 2. 燻蒸 3. 文書または新聞のマイクロフィルム化の検討	1. 中性紙袋・箱での保存の拡大 2. 燻蒸 3. 資料のマイクロフィルム化	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
一般財源			
事業費計(A)		0	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,200	19年度 1,200
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	4,291	4,291
	トータルコストA+B	4,291	4,291

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	価値が顕在化され高まる。認知される。	活用できる状態に整った地域資産の数	現状値	436	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	520
	地域資産を知っている市民の割合		現状値	41.8	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	50	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
地域の資料は他の図書館で借りることのできない地域固有の資料で、地域史研究や地域文化の継承に欠かせない。図書館は開館以来積極的に郷土資料の収集に力を入れてきた。	複本収集や、パンフレットや新聞の切り抜きなどのファイル資料の充実を進めてきたが、最近では資料保存にマイクロフィルム化はもとよりデジタル化の要求も高くなってきた。また、防虫対策酸化防止のために中性紙で保存すべき資料も増えてきた。 更に郷土にゆかりの研究者などから寄贈された図書が、未整理で蓄積されており、書庫スペースが足りなくなってきている。	貴重な郷土資料をすぐ見られる形で整理・保存してくれるよう要望が出されている。 特殊コレクションは広く全国に向けて発信してほしいとの要望もある。

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 関連事業あり (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	図書・雑誌・パンフレット等については現状維持 文書等の資産化・保存については歴史研究所と検討会を継続的にもつ 絵画・掛け軸等の保存継承については美術博物館と検討会を持つ。 専門的知識のあるボランティア活用の検討
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	